

昭和23年11月19日
第三種郵便物認可

NEW HAT

昭和23年4月20日
第七号



フェルト中折帽子
パナマ帽子 製造販賣

日産帽子株式會社

東京都台東區淺草左衛門町一
電話淺草(84)五五三〇番
六五八五番

夏期の賣上増進は
オリオンバンコック
サクラ子供帽子
で

株式會社 友田商店

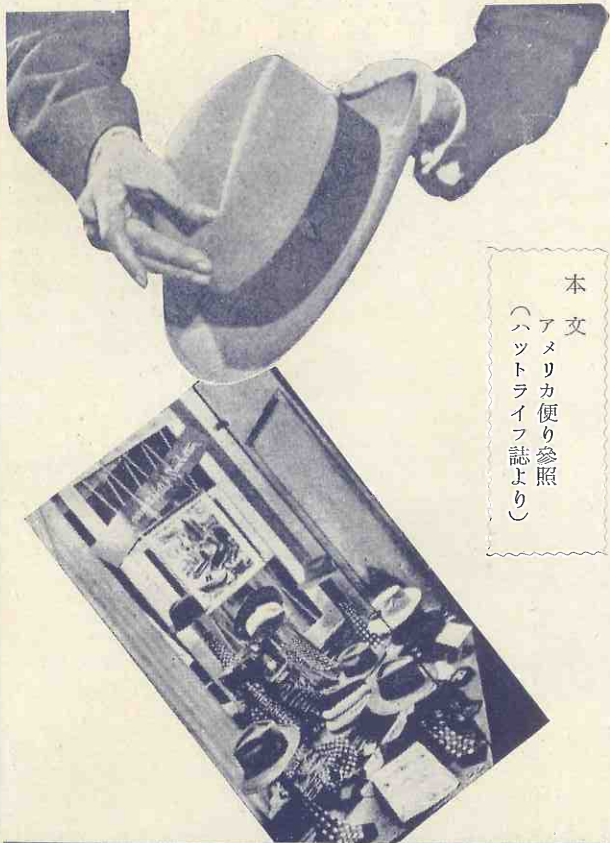
台東區淺草上平右エ門町三番地
電話淺草(84)七一九八番
振替口座東京八八九番

各種パナマ帽子製造卸

帝都製帽有限會社

藤村次郎

東京都台東區淺草向柳原一ノ二
電話淺草(84)五九〇二番



本文
アメリカ便り参照
(ハットライフ誌より)



FROM OUR FRIENDS ABROAD

During the last few years, Hat Life has had the pleasure of hearing from many old and new friends who were out of touch with the outside world by the war. Recently, however, because of the news following the return of our former and present friends from Germany and Japan, we are glad to hear of the return of our friends and to know that they are again in touch with the outside world.

Express Our Appreciation

The president of the Japan Hat Makers Association, Mr. Kishi, has written us a letter on a recent day hat show in Japan. The letter was in English and we are glad to hear that you are still able to read the Japanese language. We have read of the anniversary of the first issue of your magazine. There are many things of your world which we are glad to hear of. Your magazine is holding the same old and new friends of Japan who have been out of touch with the outside world.

THE LOCKWOOD FUR CO. INC.

Cons. HA

世界的にわたる
帽子協會

Meskin Fur Co. Inc. N.Y.C.
144 West 27th Street, New York
Tel. AL. 5-0190

皆さんも既に御承知の通り、ハット・ライフは世界的著名な帽子業者の機關誌であるが、その一九四九年二月號に我が帽子協會の消息が掲載されその活動が全世界に紹介されたことは、何としても會員一同の共に喜びたいことである。

このことによつて帽子協會の行おうとする七つの事業のうち、内外情報交換、輸出入の斡旋、製造技術の向上についての目的がいくぶんでも緒につき、また果されたこととなるのである。ニューハット六號「ハットライフとの通信」を參照

從つて今後の我々が期待し同時に努力しなければならぬことがある。即ち、内外情報の交換の爲に適時適切に日本帽子界の情報をハット・ライフに提供すると共に、その協力援助をえて新しい情報を手にいれることである。又、再開を豫想される自由貿易時代に協會宛に輸出入の照會、斡旋の依頼が豫想されることを期待すると共に準備することである。最後に、製造技術の向上發展について多くの貢献をする機会をえることである。我々は前途に多大の光明を見出したこの機会に、責任の重大さを自覺し、その總力をあげ互に協力して帽子協會本来の任務完遂に努力したいと思ふ。

一九四九年二月號「ハット・ライフ」より

我々の外國の友より

過去二年間に、ハット・ライフは、戰爭中外國から遮断されていた戦前のいくつかの古い友達について聞く喜びをもつた。最近、外國取引は以前の敵であつた國々にも許された。そして次の二つの、即ちドイツと日本からの手紙は、これらの國々の帽子業者が以前のように活動を始めたとのニュースを齎らした。

日本帽子協會の活動

日本帽子協會長岸房太郎氏は最近の日本の帽子界の状況について、我々に新しいニュースの

- 手紙をよせた。手紙は一九四九年一月十五日東京日附であつた次の如くである。
- (以下、ハットライフ宛の手紙を掲載してあるが、その原文はニューハット六號に掲載したのでそれについて讀まれたい)
- 目次
- (2) 百萬圓宣傳第二報
 - (8) 流行と製帽：菱尾幸一
 - (10) 本パナマ帽子の話
 - (12) 小賣店巡訪記
 - (7) 帽子研究室
 - (3) アメリカ便り
 - (9) 文藝

(1)

帽子協會が昨年九月に發足して以來、逐次會員も増加し本誌も廣く九州北海道等を含めた全土五千の業者に行き渡る様になつた。

ここに紹介された如く、ハットライフを通じて全世界に存在を示された協會は、豫てから關係者の手によつて企劃された百萬圓宣傳の具體的實行の段階に入つた。協會の七つの事業のうち、究極すると

帽子協會の發展にあたり

ニューハット部長 河村 鉦 眞

ころ帽子を正しく理解して貰い、一人でも多く被つて貰う、との目的が、この宣傳によつて一大躍進を爲しつつあることは疑いない。

既に、街頭宣傳、街頭放送、日劇シヨウ等が實施され相當の効果を齎らした。それによつて、更に一貫した繼續宣傳の棹尾を飾る五月一日から五日迄の帽子祭が準備されつつある。何分にも、關西と關

東を隔てた業者プロックの爲に、完全なる連繫はのぞめないまでも、相提携してこの帽子祭の全國的展開が協會の呼びかけによつて爲されんとしていることは、帽子祭、それと共に行われる全業者の運動會等の多彩な行事を一層有意義なものにするであらう。

とまれ、協會も搖籃時代を經過して業者の大同團結による強力なる事業遂行の段階に入つた。この上は、各々の持場におかれて一層の御健闘を御願いするのみである。

TOKYO-WOOD.

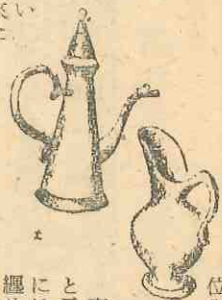
フド帽は 小島商店

本。パナマ帽子の話

藤井安忠

パナマ帽子と云へば、今日世界中で知らないものはない。而してそれが何處で出来るものかを知る人は極めて少い。そしてどんなもので作られるかは殆んど知られてゐない。これがパナマ帽子に對する一般の認識である。中央アメリカのパナマ共和国に未だ曾て一枚のパナマ帽子も作られたためではない。本當は南米のコロンビヤとエクアドルとペルーで出来るのである。それがどうしてパナマ帽子と稱へらるゝか、それにはさういふロマンがある。

現在のパナマ共和国が未だコロンビアの領地であつたころの一八四六年に、あの細長い地峽の山岳と濠水地帯であつた處へ大西洋と太平洋を結ぶ交通機關



位を分けてゐる程度に過ぎなかつたのが段々と商賣になり、さうだといふので、終には百枚二百枚の纏めて取寄せたのがいつも景氣よく羽根が生へて飛ぶように賣れたということだ。

に鐵道を敷設するといふので、歐羅巴から来た多數の鐵道技師や監督が工事竣工の一八五五年迄パナマ市に滞在してゐたことがある。

所がこゝは熱帯だけに非常に暑い。これらの人々は本國から持つて来たフェルト帽子では暑苦しくて冠つてゐられない。ところが南の方のコロンビアやエクアドル邊りから来た旅行者が皆珍らしい植物纖維を編んだやうな帽子を冠つてゐるのを見た。土着の人達もまた冠つてゐる。見るからに涼しきやうである。是等の人達も買つて冠つて見たところ如何にも涼しい。輕快でもある。そして仲々スマイルに見える。最初は南米からの渡航者が一箇々々素人の使用料

製本 見本 ケース

アイバー

帽子

修理を致します

東京都千代田区神田豊島町四番地
盛谷製作所
電話茅場町(03)1010111
都電馬喰町或ハ豊島町下車

かうしてこのパナマに永らく滞在してゐた是等の連中や、歐羅巴からの旅行者に買はれた帽子が、中には母國の知人へも送られたり又故國へ土産にと持つて歸られた。やがて歸歐した人の中にパナマで買つた帽子の話も出た。又これを貰つた友人や兄弟達も、パナマで買つて来て呉れた珍らしい帽子だと誇り吹聴する。パナマで買つた帽子、パナマの帽子、日本へもこのパナマ帽子の名と品物は最初ヨーロッパから舶來した。所謂これが本パナマ(GENUINE PANAMA Hat)である。

米西戰爭に方りキューバへ米國兵が出征した時、暑熱の所だからとて五萬枚のパナマ帽子を買上げて兵士に冠せられたことがある。兵士はそれを冠つて本國へ歸る。中には幾枚かを土産に持つて歸つたものもある。全く豫想に反したパナマ帽子の効果的な實物宣傳が出来たといふものだ。間もなくパナマ國は獨立するし、パナマ運河の開鑿が完成

された。産地での土人達は其體にか又は手製の簡單なリボンか紐を巻付けて冠つてゐるが、流石に都市の人はそこまで粗末なものには冠らない。垢抜けはしてゐないが本式に型を入れて、リボン、スベリ皮も付けた、キチンとしたものを冠つてゐる。

毎年シーズンになれば、外國から帽體を買付けるエージェントが来る。何しろ材料が特殊な産物であるために現品を一々見る必要がある。先づ各産地を駆け廻つて見る。そして各所の産額、出來榮々、相場を調査してから、思ひ品を現金で買上げる。選ぶには交通の不便な所だけに廣い道はトラックを利用するが、山道や細い道は馬の背に載せる。川があれば筏で運ぶ。そして積出港へ一旦荷物を纏めてから發送する。

前に述べたように、パナマ帽子は帽體で輸入するのであるから更に加工型入れを施さねばならない。折角の帽體を活かすか否かは、残された重要な仕事である。何と言つても、パナマ帽子の最も優れた點は、根氣よく指先

新時代の感覺

パナマ中折のふぞとくほ

専門の当店下

赤穂商店

東京都台東区浅草向柳原町二ノ一
電話浅草(84) 五〇五四番

百二十九年に初めて「トキヤ」の葉を細く裂いて、燃つて乾燥したもので帽子を編んで作つたという。それが村の人々に傳へ教へられ、やがて永い年月の間に、ゾンバルゴエスの人達の立派な産業となつた。

パナマ帽子は「トキヤ」の樹の葉で作る。産地では此葉をパ・トキヤ(PAIA TOQUIA)はトキヤの葉の意でスペイン風にかう發音する。と皆稱へてゐる。出來た帽子は、こゝではスペイン語でTOQUILLAS OMERERO (トキヤ・ハットの意)と言ひパナマ・ハットとは全然言はない。それはアマゾンの上流や、太平洋沿岸に沿ふた森や、山地の湿度の多い所に繁茂する棕櫚である。此植物は野生で幹は六呎から十呎位の長さがあり、葉は四呎程の長さで、成熟して扇の様にまだ葉の廣がらぬ内に刈り採る。近年はこの木の栽培方法を試みて増殖を計つてゐる。

中細のもので千五百本、極細のものは一二十本内外を以てする。特別な高級品は五千本から七千本も使ふ。つまり良い品質程長く摘つた細いフワイバーで以て編まれ、手間も日數も餘計に掛る。一個編上げるのに普通太葉で二、三日、細葉で三四日乃至五六日、中には半月も一月も掛かつて豪華なものを作る。

帽子を編むには先づ頭を中心から、この纖維を二本宛放射線状に並べて始める。山の型を付けるため、彼等は本製のプロックを膝にはさんで頭からツバへと螺旋状にまわつ編み下して来る。パナマの葉は外氣の温度や湿度に對して、非常にデリケートな特質を持つてゐるので、それ故、朝のうちか、日没前から夜分にかけて編まれる。日中氣温の高い空氣の乾燥してゐる時を避ける帽體はツバのヘリを編上げて仕上りとなるが、このヘリの編み方に二た通りある。一つはアメリカン・エツヂと言つてヘリに糸の通つてゐないのとユウロピアン・エツヂと言つて

ヘリの廻りに糸を通して編込まれたものがある。後者の方は手間が餘計に掛はするが、冠つて永持ちをする。洗濯してもたやすく破れない。産地の人々は男女共五六才から編み方を覚えてゐる。下級品は精々二十才位迄の子供が編む。中級品で二十前後迄、上物程年を取つた熟練な者が編む。素的な超高級品になると一個を編むのに三ヶ月から六ヶ月を要するものもある。それは美事なダマスク・クロスのやうに見え、纖維は麻糸と見紛う程である。

編上げた帽體は、一個宛嚴重に検査をして纖維の纏ぎ目の完全、不完全を調べた上、或は纖維の細かい産毛の様な顯れを除き去るなどの整理を行ふ。そして出來た帽體は一度水洗ひをしてからゴム液を塗る。硫酸で表面に磨きを掛ける。それを一度簡單な木型に冠せて叩きながら表面を滑かにする。これで初めて帽體が完成したのである。だがまだ、シヨウウ・インドウで見られるやうな帽子になつてゐるのではない。冠るには未完成の帽體であつて此處海外へ輸出

された。産地での土人達は其體にか又は手製の簡單なリボンか紐を巻付けて冠つてゐるが、流石に都市の人はそこまで粗末なものには冠らない。垢抜けはしてゐないが本式に型を入れて、リボン、スベリ皮も付けた、キチンとしたものを冠つてゐる。

毎年シーズンになれば、外國から帽體を買付けるエージェントが来る。何しろ材料が特殊な産物であるために現品を一々見る必要がある。先づ各産地を駆け廻つて見る。そして各所の産額、出來榮々、相場を調査してから、思ひ品を現金で買上げる。選ぶには交通の不便な所だけに廣い道はトラックを利用するが、山道や細い道は馬の背に載せる。川があれば筏で運ぶ。そして積出港へ一旦荷物を纏めてから發送する。

前に述べたように、パナマ帽子は帽體で輸入するのであるから更に加工型入れを施さねばならない。折角の帽體を活かすか否かは、残された重要な仕事である。何と言つても、パナマ帽子の最も優れた點は、根氣よく指先

別られた葉を小さい木片に針を付けたもので、縦に細く、幾筋から引揚げたものは水切を良くし、先づ太陽で漂白する。それから此邊の國々で採れるシトロン果實の汁を水に混じした湯で更に漂白する。斯くした葉は持ち前の習性で、自然と兩側から中心へ巻き込まれ細く丸味を持つ。これがパナマ帽子に編まれる纖維である。これを以て一個の帽體を作るに太葉で凡そ千本



帽子用リボン登録指定販賣店

クーボンの現物化は

迅速に取扱ふ

日本細巾織物株式會社

東京通都所台東區淺草向柳原二ノ一
電話(84) 四三三一 四三番

見られるやうな帽子になつてゐるのではない。冠るには未完成の帽體であつて此處海外へ輸出

流行の源泉

● 賣り良い高級品 ●

大人 各種夏帽子

子供

新星商工株式會社

東京都台東區淺草向柳原二ノ二
電話浅草(84) 3352・2637番

ニューハットの御選擇は

是非定評ある……

村越商事有限會社へ

東京都中央区日本橋馬喰町4の9
電話茅場町(66) 7186番

大學高専帽ノ附屬品ハ

定評ノアル!



山達

中央區日本橋村松町十八
電話 茅場町(66)二四八〇番

を動かして、一枚々々編み上げた、
という尊さに在るのである。恐
らく、ハンドメイドの最たるもの
であらう。それにあの品のいい
色合と匂いと、さうして強靱さ
である。これらの持味を殺して
は何にもならない。我々の特に
腐心する所は漂白である。輸入
した帽體の儘では、まだ充分に
漂白が完成してゐないから、こ
のままでは年月が経つと變色の
恐れがある。それは日焼けでな
く、葉の持つ特質から来るので
この憂ひを先づ是非除去かなけ
ればならない。織物漂白の式で
は駄目である。白くはなるが生
地を臺なしにして仕舞ふ。日本
のバームやマーシャル・パナマ
の漂白方法でも盲く行かない。
この點では、流石に漂白法で
多年の経験を秘めた英國での加
工は、良く出来てゐると思ふ。
近頃アメリカの製品の進歩も數
年來目醒しいものがある。そこ
に各國それぞれの特徴がある。
戦前日本へ輸入された帽體の加
工技術も非常に進歩して來た。
次には原料を輸入し編上げて

からの製造である。産地から原
料のトキヤの葉を輸入してゐる
國を調べて見ると、戦前白耳義
と伊太利と我日本の三箇國であ
る。この内白耳義は最も古く既
に成功してゐる。日本も戦前完
成の域に達して特に漂白は優れ
たものがあつた。
ところでどんなパナマ帽子が
本當に優れて良いものであるか
といへば、先づ織維の太さが良
く揃つてゐること、色合の一樣
であること、さうして編目に精
粗の斑のない。言ひ換へれば頭
からツバ迄が出来ただけ一定の
密度でガツチリよく組込んで編
まれたものである。決して編
みの精粗のみを見て、断じること
ない。産地の専門家が常に強く
説いてゐる所である。さうして
或一つの等級が山の高さやツバ
の幅に不同なく多數に五つても
一定の規格に揃つてゐる程その
商品價値があると言へる。例へ
細編でも黒い織維が編込まれた
ものや、地肌の下に薄赤味や茶
味の帯びたものはいけない。以
上でもつて本パナマ帽子の大略
を記した積りである。



日劇ハットショウのスナツプ

進上増進は
双葉 登子 山 帽
から 東京都台東区浅草島越2/2
特売中 (左エ門橋通消防署隣)
電話浅草(84)0660番

編集後記

▽本誌が讀者の手許に届く頃
は百圓圓宣傳の第二弾ハット

高級学生帽は
Rabbit
ラビット印

帽子界の御用は
富士銀行
支店 鳥越

を御利用下さい

▽本誌のビックニュース、ハ
ットライフに會長の寫眞と共
にこちらの手紙がのつた。百
萬圓宣傳費醸出で大もめの理
事會で、黙つて見ていた某氏
がこの記事を初公開。とたん
にハットショウの全費は岸會
長がまかなう値うちがあると
全會一致の意見。會長、嬉し
くなつたり奇くなつたり。
醸出の件もスラスラとまり
蔭の企劃者は大當りと嬉しそ
う。

ショウが終つてゐるだろう。
舞臺帽子も協會關係者でもち
よつてできあがるが、主役に
山口淑子と灰田勝彦が内定し
ていたのが映畫出演でオジャ
ン。

ニュースバリニューに氣を揉ん
だ企劃委員、何とかならぬか
と日本廣研に注文をつけるこ
とアホらし、日劇のやること
に「マアあらへん」と素人觀察
を駁す、こうなると、第三弾
以下も素人考の宣傳効果あり
の大鼓判もそろそろあやしい

一番賣れる
1949年型
パナマ
各種帽子
豊富取揃ヒ

御仕のは
橋本屋
二村商店
東京都中央区日本橋横山町四
電話茅場町(66) 7444
6127

帽子祭
特賣中 五月

輝やく商標
ゴールデンシップ印

新時代のデザイン

優れ賣り良い高級帽子

丸賣元
東洋帽子株式會社
東京都台東区浅草向樺原町ノ十八
電話浅草(84)4944番

昭和二十四年四月十五日 印刷納本 昭和二十四年四月二十日 發行 (毎月二十日一回發行)
 昭和二十三年十一月十九日 (第三種郵便物認可)

纖維界の
 ニューフェイス

綿・人絹に優る
 抄織物

在庫豊富
 是非御來社を乞ふ

東京都・台東區・淺草・向柳原

東京紙布株式會社

電話・淺草・(84) 2373

帽子の御仕入は

製造直接販賣の元祖

中井産業株式会社

東京都中央区日本橋横山町三
 電話茅場町(66)〇〇七二・六八八一



東京釦徽章製作所

帽章・徽章・耳章・バッヂ
 金釦・金銀モール製品
 制服 附 屬 品 優 秀 品 製 作
 東京第一の

東京都台東區下谷西町九番地
 電話下谷(83)四二八〇番
 振替東京一四、三四八番

優秀パナマ 現る

雨が降ってもこのパナマなら！
 本社独特の
 防雨パナマを！
 製造 売元
 株式会社



東浦助藏商店

東京都台東區淺草橋三ノ四五
 電話淺草(84)七七二七番

「ニューラット」第七號 (定價 二十五圓)